



- 所在地 羽曳野市尺度53番地の4
- 敷地面積 自然活用型ゾーン 9,524平方メートル
施設学習型ゾーン 9,771平方メートル
- 延床面積 動物愛護管理センター棟 2,555平方メートル
傷病野生獣保護屋外施設 100平方メートル
- 構造階数 動物愛護管理センター棟
鉄筋コンクリート造 地上2階建
傷病野生獣保護屋外施設 鉄骨造 平屋建
- 工事期間 平成28年3月から平成29年6月
- 設計 株式会社大建設計
- 施工 株式会社森長工務店
- 請負金額 745,000千円

ふれあいの場にふさわしい配置計画

安全で機能的な外部動線の確保

- ・敷地形状を活かしたコンパクトな建物とし、ゆとりを持った配置とする。
- ・敷地内は歩車分離し、安心して広場での屋外活動ができる外部動線計画とする。
- ・駐車場から愛護啓発に関する屋外施設等に効率よくアプローチできるようにする。

機能的で使いやすい施設計画

- ・エントランス周りに来庁者のためのふれあいコーナー等を配置し、自然と動物愛護に対する理解を深められる工夫をする。
- ・ロビーに面して啓発展示コーナーを配置し、活動の合間など休憩時間にも展示が見える工夫をする。
- ・受付や階段・エレベータ、トイレはエントランスに面した分かりやすい位置に配置する。

管理省力化と維持管理コストの低減

- ・動物を扱う施設として機能維持が必須であるため、配管更新スペースとしてPSを適切に設置。
- ・モニタリングシステムを採用し、事務室で消費エネルギーの集中管理を行う。